

# 明治美術学会 会員業績録

(2008年4月1日～2009年3月31日)

この夏、会員に対し2008年4月1日～2009年3月31日の間に発表した主要論文等3点以内の報告を依頼した。以下がそのリストである。  
 なお、よせられたもののうち、上記期間以前の業績については記載したが、以後のものは省いた。リストの作成は喜多孝臣がおこなった。

名前	共著者	論文名／書名	掲載誌／掲載書	発行	巻号	刊行年月
青木茂		新・旧刊案内 34～37	『一寸』	学藝書院	34号～37号	2008年5月、8月、11月、2009年2月
青木茂		資料二、三片にみる福沢諭吉 —『頼才新誌』と『吟香日記』と『時事新報』ほか	『Booklet』	慶応義塾大学 アート・センター	17号	2009年3月
浅野智子		美術家の都市美への意識と実践	『芸術学研究』	筑波大学	13号	2009年3月
浅野智子		一九一〇年代から三〇年代の 都市風景画の展開について	『藝叢』	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 芸術学研究室	25号	2009年3月
足立元		キーワードで見る日本近代絵画	『別冊太陽 日本のこころ 近代日本の画家たち 日本画・洋画 美の競演』	平凡社	154号	2008年7月
足立元		藤田嗣治の漫画 —1938年の『バクシヨ— と『親隣画集』をめぐって—	『近代画説』	明治美術学会	17号	2008年12月
足立元		大人になったら批評を読もう いまこそ美味しい「宮川淳」の読み口	『美術手帖』	美術出版社	917号	2009年1月
荒井経		芳崖と西洋顔料	『狩野芳崖 悲母観音への軌跡』展図録	東京芸術大学 大学美術館		2008年8月
荒屋鋪透		モディリアーニとフジタ —映画《モンパルナスの灯》周辺	『国立国際美術館ニュース』	独立行政法人 国立美術館 国立国際美術館	167号	2008年8月
荒屋鋪透		近代風景画の旅—浅井忠・安井曾太郎・ 佐伯祐三の西洋体験	『月刊美術』12月号		34巻12号 (通巻399号)	2008年12月
有田巧		長谷川路可・チヴィタヴェッキア・ 1951年～1957年(1)	『崇城大学芸術学部 研究紀要』	崇城大学芸術学部	2号	2009年3月
石井元章		明治初期の西洋美術受容	『藝術文化研究』	大阪芸術大学 大学院	12号	2008年4月
石井元章		La ricezione dell' arte Meiji in Italia: arte pura o arte applicata?	1868 Italia Giappone: Intrecci culturali. Ediz. italiana e inglese	Libreria Editrice Cafoscarina		2008年
李 仲熙		『韓国近代美術史の深層研究』(ハングル)		藝耕出版社(韓国)		2008年6月
伊豆井秀一		都市の「場所」をさがして	『都市を創る建築への 挑戦』展図録	埼玉県立近代美術館		2008年11月
出光佐千子		小杉放菴筆『秋色山水長巻』 —楽園イメージの源泉と「片ほかし」の展開	『出光美術館研究紀要』	出光美術館	14号	2009年1月
出光佐千子		池大雅筆「松蔭觀潮・夏雲靈峰図」屏風の 主題再考察	『国華』	国華社	1354号	2008年8月
出光佐千子		『近代日本画のロマン 小杉放菴と大観 響きあう技とこころ』展図録		出光美術館		2009年2月
稲賀繁美		Japanese Encounter with Latin America and Iberian catholicism	<i>The Comparatist</i>		32号	2008年
稲賀繁美		解説	ヨネ・ノグチ英文著作集 第2集『浮世絵および日本 美術評論集』(復刻集成版) (全3巻)	Edition Synapse		2008年11月
稲賀繁美		華厳経と現代美術—相互照射の試み	『あいだ』	『あいだ』の会	152～ 154号	2008年9月、 10月、11月
今泉宜子		『明治神宮 戦後復興の軌跡』		鹿島出版会		2008年10月
今橋映子		『フォト・リテラシー —報道写真と読む倫理』		中央公論新社		2008年5月
岩切信一郎		石川寅治の裸婦版画をめぐって	『一寸』	学藝書院	34号	2008年5月
岩切信一郎		河野通勢と関根正二	『一寸』	学藝書院	35号	2008年7月
岩切信一郎		樋口探月斎守保という画家 —依田学海、八田知紀、五姓田芳柳、 黒田清輝等の関係をめぐって—	『一寸』	学藝書院	36号	2008年11月

植野健造		書評 安永幸一編『福岡市美術館叢書4 吉田博資料集 明治洋画新資料』	『九州藝術学会誌 デアルテ』	西日本文化協会	24号	2008年6月
植野健造		青木繁と福田たねの時代	『芳賀町総合情報館開館記念展 福田たね 青木繁のロマン』展図録	芳賀町総合情報館		2008年10月
江川佳秀		日本美術の後背地 —日本人美術家にとっての「満洲」	『日本美術史の杜』	竹林舎		2008年9月
恵美千鶴子		明治宮殿常御殿襖画の考案 —正倉院鴨毛屏風模造・平家納経模本の引用と山高信離—	『MUSEUM』	東京国立博物館	617号	2008年12月
及川茂	(共編著)	『浮世絵大事典』		東京堂出版		2008年6月
及川茂		鬼を描いた「画鬼」 曉斎	『アジア遊学』	勉誠出版	118号	2009年1月
及川茂	Stephan Schulenburg 編	ukiyo-e Studies	Masterpieces of Japanese Woodblock Printing	Museum für Angewandte Kunst Frankfurt		2009年
大谷省吾		戦前と戦後の前衛絵画をつなぐもの —福沢一郎、鶴岡政男、北脇昇を例に	『藝叢』	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 芸術学研究室	25号	2009年3月
大谷省吾		岡本太郎の“対極主義”の成立をめぐる	『東京国立近代美術館研究紀要』	東京国立近代美術館	13号	2009年3月
大貫伸樹		佐野繁次郎の装丁本と、横光利一「機械」「時計」の装丁	『本の手帳』	本の手帳社	6号	2009年3月
大前勝信		大村廣陽の画業について	『没後25年 大村廣陽展 豊かな花鳥動物画』展図録	ふくやま美術館		2008年12月
岡本隆志		宮様とやきもの—三峰窯概説	『三峰窯の思い出—宮様とやきもの』展図録	宮内庁		2009年1月
岡本隆志		三代清風興平について (三)	『三の丸尚蔵館年報・紀要』	宮内庁	14号	2009年3月
岡本正康		東京藝術大学所蔵 狩野芳崖模本群 —「芳崖」以前の芳崖	『狩野芳崖 悲母観音への軌跡』展図録	芸大美術館 ミュージアムショップ		2008年8月
岡本正康		大正初年・西洋古美術研究のネットワーク	『下関市立美術館研究紀要』	下関市立美術館	12号	2009年3月
奥間政作		「沖縄戦」と美術	『美術史研究』	早稲田大学 美術史学会	46冊	2008年12月
尾崎有紀子		『イタリア国家統一運動における 義勇兵の図像に関する覚書』	『比較文学年誌』	早稲田大学 比較文学研究室	45号	2009年3月
五十殿利治		『観衆の成立—美術展・美術雑誌・美術史』		東京大学出版会		2008年6月
五十殿利治		工場から街頭へ、そして試写室へ	『美術フォーラム21』	美術フォーラム21 刊行委員会	18号	2008年11月
五十殿利治		日中戦争期における雲崗石窟と日本人美術家 (2)	『芸術研究報』	筑波大学芸術学系	29号	2009年2月
加治幸子		版画仲間の庭	『屋上庭園』展図録	東京都現代美術館		2008年4月
河上真理		アキッレ・サンジョヴァンニと日本—来日経緯と《明治天皇・昭憲皇太后肖像》及び、宮内庁三の丸尚蔵館蔵《締盟國元首肖像》二点の制作—	『京都造形芸術大学紀要 Genesis』	京都造形芸術大学	12号	2008年11月
河上真理		明治の美術界におけるイタリア—画家松岡壽と建築家辰野金吾の場合	『立命館言語文化研究』	立命館大学国際言語文化研究所	20号	2008年11月
河田明久		富士図の近代	『富士山 近代に展開した日本の象徴』展図録	山梨県立美術館		2008年6月
河田明久		展覧会をはなれて—1930年代の古拙趣味とその背景	日韓近代美術史シンポジウム報告書 『都市と視覚空間—1930年代の東京とソウル』	明治美術学会		2009年1月
北川太一		『戦争と暗愚』		女川・光太郎の会		2008年8月
北川太一		フューザン会次第(7) —第二回展に向けて—	『高村光太郎研究』	高村光太郎研究会	29号	2008年5月
北川太一		『観潮楼の一夜—鷗外と光太郎』		北斗会出版部		2009年1月
喜多孝臣		日本近代におけるプロレタリア美術運動の伸張とその影響について	『鹿島美術財団年報』	鹿島美術財団	25号 (別冊)	2008年11月

喜寿孝臣		大正から昭和戦前期におけるロシア美術の紹介と受容—プロレタリア美術運動を中心に—	『早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要』	早稲田大学會津八一記念博物館	10号	2009年3月
金恵信		植民地期韓国における「朝鮮地方色」美術：その言説と表象	『日統治時期台湾美術的「地域色彩」展論文集』	国立台湾美術館		2007年6月
金恵信	多木浩二、藤枝晃雄編		『日本近現代美術史事典』	東京書籍		2007年9月
金原宏行		—曾宮一念の油彩・淡彩の魅力— 雲くらい眺めて楽しいものはない	『曾宮一念油彩・淡彩素描展』図録	(財)駿府博物館		2008年8月
蔵田愛子		大野雲外の画業—人類学教室での活動と「模様集」	『近代画説』	明治美術学会	17号	2008年12月
桑原規子		戦後日本版画の世界進出—占領期から東京国際版画ビエンナーレ創設まで—	『聖徳大学言語文化研究所論叢』	聖徳大学言語文化研究所	16号	2009年2月
桑原規子		創作版画と伝統木版画—1930年代版画論争のゆくえ—	『伝統から創造へ3』	日本学術振興会人文・社会科学振興プロジェクト研究事業報告書		2009年3月
桑原規子		『日本近代版画の海外紹介とその国際的評価に関する研究—昭和初期から占領期まで—』		平成17～19年度科学研究費補助金研究成果報告書		2008年5月
向後恵里子		東城鉦太郎—日露戦争の画家	『近代画説』	明治美術学会	17号	2008年12月
向後恵里子		日露戦争と絵葉書	『日本絵葉書会会報えはかき』	日本絵葉書会	24号～27号	2008年4月、7月、10月、2009年1月
河野元昭	(共著)	『浮世絵大辞典』		東京堂出版		2008年6月
河野元昭	(共著)	『幽霊名画集』		筑摩書房		2008年8月
河野元昭		『国華』百二十年の歩み	『対決 巨匠たちの日本美術』展図録	朝日新聞社		2008年7月
児島薫		『帝国』を映す女性像の変遷—洋装と和装の役割	『美術フォーラム21』	醍醐書房	18号	2008年11月
児島薫	辻惟雄編	幕末・明治の花鳥画と「日本画」の形成	『激動期の美術』	ペリかん社		2008年10月
児島薫	原舞子	『癸卯園遊会』関連資料紹介と山本芳翠「活人画」について	『実践女子大学美学美術史学』	実践美学美術史学会	23号	2009年3月
小林俊介		満谷国四郎《白石島》について	『満谷国四郎《白石島》調査および保存修復報告書』	山形大学地域教育文化学部小林研究室		2009年3月
斉藤全人		『館蔵品研究』森寛斎筆「赤壁之図」—山水図にみる寛斎の南画学習—	『三の丸尚蔵館年報・紀要』	宮内庁	14号	2009年3月
斉藤全人		今尾景年筆「春花鳥図」—巴里に臨んだ花鳥画家—	『三の丸尚蔵館年報・紀要』	宮内庁	14号	2009年3月
佐伯英里子	辻惟雄・泉武夫編	『日本美術史ハンドブック』		新書館		2008年3月
酒井忠康		写真のうちに胎生したことば	『土門拳エッセイ選／風貌・私の美学』	講談社		2008年4月
酒井忠康		村山槐多の詩と絵画	『村山槐多詩文集／槐多の歌へる』	講談社		2008年11月
酒井忠康		『早世の天才画家 日本近代洋画の十二人』		中央公論新社		2009年4月
迫内祐司		聖戦美術と宇都宮	『文星芸術大学大学院研究科論集』	文星芸術大学芸術理論研究室	3号	2008年10月
佐藤道信		進化論としての悲母観音図	『狩野芳崖 悲母観音への軌跡』展図録	東京芸術大学美術館		2008年8月
佐藤道信		工芸とジャンルのヒエラルキー	『美術史の余白に 工芸・アルス・現代美術』	美学出版		2008年9月
佐藤道信		河鍋曉斎 観音と妖怪—異界の聖と俗	『美術史フォーラム21』	醍醐書房	18号	2008年11月
澤田佳三		『天才画家・佐伯祐三』の意味	『没後80年記念 佐伯祐三展』図録	産経新聞大阪本社		2008年9月
澤田佳三		画家の生きる場所—佐藤哲三の選択	『佐藤哲三の時代』展図録	『佐藤哲三の時代』展実行委員会		2008年10月
塩谷純		山内多門—雅邦を継ぐ者	『山内多門 生誕130年展』図録	都城市立美術館		2008年10月

重村幹夫		幕末から明治前期における油画画材に関する一考察—高橋由一を中心に—	『芸術学研究』	筑波大学大学院人間総合科学研究科	13号	2009年3月
清水恵美子		茨城における日本美術院五浦移転の意義	『地方史研究』	地方史研究協議会	334号	2008年8月
清水恵美子		六角紫水とガードナー夫人	『「国宝」を創った男六角紫水展』図録	広島県立美術館		2008年11月
鈴木廣之		江戸・東京の都市空間と美術	『美術フォーラム21』	醍醐書房	18号	2008年11月
鐸木道剛		描かれたマリア様は、弁天様は、生きている？—牧島省三とロシア・アイコン	『牧島如鳩』展図録	足利市立美術館		2008年11月
鐸木道剛		日本とアラスカのアイコン—山下りんとアレウト人画家クリューコフ	『揺らぎの中の日本文化—原像・怪異・日本美術』	岡山大学出版会		2009年3月
高尾曜		飯島半十郎(虚心)「蒔絵師伝」の成立と漆工研究	『美術史』	美術史学会	166号	2009年3月
高木博志	丸山宏、伊従勉共編	『近代京都研究』		思文閣出版		2008年8月
高木博志		古典文学と近代京都をめぐる素描—名所の女性化と源氏物語千年紀	『歴史評論』	校倉書房	702号	2008年10月
高木博志		解題	『史蹟名勝天然記念物【昭和編】』	不二出版		2008年11月
滝沢恭司		美術家と「南洋群島」と日本近代美術と	『美術家たちの「南洋群島」展』図録	東京新聞		2008年4月
滝沢恭司		都市と幻想表現・谷中安規の版画をめぐって	日韓近代美術史シンポジウム報告書『都市と視覚空間—1930年代の東京とソウル』	明治美術学会		2009年1月
立花義彰		石井楚江著『静陵畫談』について	『静陵画談 復刻版』	羽衣出版		2008年8月
田中修二		日本彫刻史の中の岡本太郎	『岡本太郎 立体に挑む—造形のなぞにせまる—』展図録	川崎岡本太郎美術館		2008年4月
田中修二		『戦前の文献にもとづく作品台帳制作と所在調査(全国調査)』についての報告と考察	『屋外彫刻調査保存研究会会報』	屋外彫刻調査保存研究会	4号	2008年7月
田中修二		土田麦僊とクラシシズム—両大戦間期の日本画の動向	『大分大学教育福祉科学部研究紀要』	大分大学教育福祉科学部	30巻2号	2008年10月
田中秀隆		オーストラリア人アイデンティティーと「国民絵画」—コモンウェルス大会を前にしたメルボルンを前にして	『美術に即した文化的・国家的自己同一性の追求・形成の研究』	(基盤研究(A))研究成果報告書		2008年5月
田中秀隆		幻に終わった最後の茶会	『歴史公論』	新人物往来社	53巻8号	2008年8月
田中秀隆		秀吉茶会における信長継承戦略	『金鯢叢書』	徳川黎明会	35号	2009年3月
丹尾安典		はなさか娘たち	『無垢の眼』展図録	早稲田大学会津八一記念博物館		2008年6月
丹尾安典		心理学者とKY	『一寸』	学藝書院	36号	2008年11月
丹尾安典		『男色の景色 —いはねばこそあれ—』		新潮社		2008年12月
千葉慶		帝都の銅像—理念と現実—	『美術フォーラム21』	醍醐書房	18号	2008年11月
千葉慶		〈神話〉からの脱却—戦後日本映画に「父=治者」への欲望を追う	『イメージ&ジェンダー』	彩樹社	9号	2009年3月
千葉慶		日米安保体制と裕次郎映画—戦後日本映画における「植民地的主体」意識の臨界点をめぐって—	『日本研究』	国際日本文化研究センター、角川書店	39号	2009年3月
角田拓朗	(共編著)	『五姓田のすべて—近代絵画への架け橋』展図録		神奈川県立歴史博物館・岡山県立美術館		2008年8月
角田拓朗		満谷国四郎《自画像》の彷徨い—五姓田派の所在を問うことの意味	『美術研究』	東京文化財研究所	397号	2009年3月
永宮勤士		ROZO群考—1970年までの活動とその評価	『藝叢』	筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術学研究室	25号	2009年3月
新関公子		美術と漱石—新しい視覚像にこだわる—	『國文學』臨時増刊 特集漱石	學燈社	3巻9号	2008年6月
新関公子		名画に迷い込んだ猫たち—デュラール、シャルダン、マネ、ルノワール、ピカソ、バルテュス	『猫びより』	日本出版社	41号	2008年9月
新関公子		De Kuroda à Foujita, Peintres Japonais à Paris展最終報告	『美術運動史研究会ニュース』	美術運動史研究会	101号	2009年3月

西恭子		竹久夢二と民主化運動	『人間科学総合研究所紀要』	東洋大学 人間科学総合研究所	10号	2009年3月
野呂田純一		美意識の交流—「よき趣味」と「風雅」—	『意匠学会会誌 デザイン理論』	意匠学会	53号	2008年12月
野呂田純一		明治初期における「美術」概念の成立過程	『MUSEUM』	東京国立博物館	618号	2009年2月
原田平作		河北倫明氏に潜む土着性の意義	『日本藝術の創跡』	世界文藝社		2008年4月
原田平作		関西の美術力アップのために雑感を述べてみる	『美術フォーラム21』	醍醐書房	17号	2008年5月
原田平作		江戸の粋・東京の張り、京の雅・京都の研ぎ、大坂の遊・大阪の芸	『美術フォーラム21』	醍醐書房	18号	2008年11月
樋田豊次郎	共編著	『終わりがきれない「近代」 —八木一夫とオブジェ焼き』		美学出版		2008年4月
廣瀬就久		『柚木弥弥郎—わきあがる色と形』展図録		岡山県立美術館		2008年5月
廣瀬就久		特別展「五姓田のすべて」 岡山会場出品作品について	『岡山県立美術館紀要』	岡山県立美術館	1号	2009年3月
福江良純		星取り法の造形的特性 —オリジナルと複製を跨ぐもの—	『図学研究』	日本図学会	42巻1号	2008年3月
福江良純		彫刻技法「星取り法」と形態の生成 —ロダンにおける模倣について—	『美術解剖学雑誌』	美術解剖学会	12巻1号	2008年1月
舟木力英		小杉小二郎の作品—その特質と展開	『小杉小二郎展 田里/ 窓辺に詩う』展図録	次城県つくば美術館		2008年4月
古田亮		近代美術と明治天皇	『三の丸尚蔵館年報・紀要』	宮内庁三の丸尚蔵館	14号	2009年3月
古田亮		鳥居清長の肉筆画を含む 《徒然草画巻》について	『東京藝術大学 大学美術館年報』	東京藝術大学 大学美術館	平成19年度	2009年3月
増野恵子		百段階の絵画調査報告	『文化財の保護』	東京都教育委員会	41号	2009年3月
松井貴子		正岡子規のジャンル意識 —西洋受容と写生論構築	『文学』	岩波書店	7-8月号	2008年7月
松岡智子	太田泰人、水 沢勉、渡辺真 理	『[新版] 美術館は生まれ変わる —21世紀の現代美術館』		鹿島出版会		2008年9月
クリストフ・マルケ (Christophe Marquet)		<i>L'almanach des maisons vertes</i> (—九・歌麿「吉原青楼年中行事」の仏訳 と解説)		Éditions Philippe Picquier-INHA		2008年10月
クリストフ・マルケ (Christophe Marquet)	(編集)	<i>Le Japon illustré, De Hokusai à l'école Utagawa</i> (展覧会図録 Musée des Beaux-Arts de Rouen)		Fage editions, Lyon		2009年3月
クリストフ・マルケ (Christophe Marquet)	韓琦、米盖拉 編	17世紀中国画譜在日本被接受的経過	『中国和欧洲 印刷術与書籍 史』	商務印書館		2008年12月
三浦篤		19世紀フランスのアカデミスム絵画と 日本近代洋画家たち	『フランス絵画の19世紀』 展図録	日本経済新聞社		2009年3月
宮下規久朗		『刺青とヌードの美術史 —江戸から近代へ』		日本放送出版協会		2008年4月
宮田徹也		山口長男《軌》のマチエールについて	『横浜美術館研究紀要』	横浜美術館	9号	2008年4月
村上敬		〈彫刻〉と〈工芸〉と〈いい仕事〉 —ものをめぐる言葉について	『美術史の余白に 工芸・ アルス・現代美術』	美学出版		2008年9月
村田隆志		『大橋翠石 日本一の虎の画家』		神戸新聞社		2008年10月
村田隆志		田村一村と近代南画—小室翠雲と松林桂月 双壁の間で—	『生誕100年記念・田村一 村展—原初へのまなざし』 展図録	奈良県立 万葉文化館		2008年10月
村田隆志		遺愛の筆一筆と書画表現の相関性	『遺愛の筆 家康から陽山まで』	筆の里工房		2009年2月
村角紀子		藤岡作太郎の美術研究活動 —明治三十五年、須賀川、亜欧堂田善—	『MUSEUM』	東京国立博物館	615号	2008年8月
森登		解題	『正智遺稿 岩橋教章遺稿集』	明治美術学会		2008年12月
森登		銅・石版万華鏡 8～19	『日本古書通信』	日本古書通信社	945号～ 956号	2008年4月～ 2009年3月

森登		玄々堂再見1・2	『一寸』	書痴同人・ 学藝書院	36号、 37号	2008年11月、 2009年2月
森仁史		日本再生の1950年代—想像力と手法の模索	『デザイナー誕生： 1950年代グラフィック・ デザイン』	印刷博物館		2008年4月
森仁史		(監修)	『叢書・近代日本の デザイン』 大正編第1回配本全8巻	ゆまに書房		2008年10月
森仁史		『日本(工芸)の近代』		吉川弘文館		2009年1月
森芳功		京都画壇に咲いた夢 —幸田春耕と暁冶の画業を中心に—	『京都画壇に咲いた夢 —幸田春耕、暁冶父子と京 都・徳島の日本画家たち』 展図録	徳島県立近代美術館		2008年10月
森芳功		広島兎甫の生涯と彼を支えた人々 —広島秀太郎、馬上孝太郎、八代京野兵右 衛門・葉子、広島希求子と兎甫のつながり を軸にして—	『徳島県立近代美術館 研究紀要』	徳島県立近代美術館	11号	2009年3月
柳沢秀行		美術館・身体	『舞踏学』	舞踏学会	31号	2008年12月
柳沢秀行	木下直之編	世の中とつながりたい ミュージアム(美術館)の考えていること	『芸術の生まれる場』	東信堂		2009年3月
山浦健夫		藤川勇造と二科会の若い彫刻家たち	『静かなる情熱—藤川勇造 とロダンの美』展図録	香川県立 ミュージアム		2008年4月
山浦健夫		尾竹三兄弟と新潟—特に越堂を中心に—	『第4回尾竹三兄弟展』図録	潟東地域 コミュニティ協議会		2008年9月
山浦健夫		會津八一と安宅安五郎 —二人の交流を資料から探る—	『新潟県文人研究』	越佐文人研究	11号	2008年11月
山口泰二		荻原守衛の精神を受け継いだ彫刻家たち	『花美術館』	蒼海出版	8号	2008年11月
山口泰二		国吉康雄 —アメリカの希望を生きた苦悩の画家	『花美術館』	蒼海出版	9号	2009年2月
山口喜雄		『20世紀後半の日本美術科教科書研究』 (1998-2008)【日英対訳】／ "Study on the Works Introduced in Art Textbooks in the Last Half of the 20th Century in Japan"	『美術教育文献のアーカイ ビングに関する発展的研 究』(研究代表) 平成19～22年度 科学研究費補助金基盤研究 A 実績報告書1 (課題番号19203036)			2008年8月
山口喜雄		戦後の美術科教科書における 掲載作品の研究(10) —色彩題材の変遷とその掲載作品の考察	『日本美術教育研究論集』	(社団法人) 日本美術教育連合	42号	2009年3月
山田久美子		パリの欧文挿絵本	『「ことばと人間」立教大学 言語人文紀要』		10号	2008年12月
山田直子		祭り装束の人々を描く—林唯一の眼差し	『女子美術大学美術館年報』		6号	2009年3月
横山大観記念館 (池田博子)		横山大観の回顧展について	『横山大観記念館報』	横山大観記念館	24号	2008年7月
横山大観記念館 (池田博子・佐 藤志乃)	池田博子・佐 藤志乃共著	作品解説	『横山大観画集』	朝日新聞出版		2009年
横山大観記念館 (佐藤志乃)		『横山大観の「漁樵問答」「竹雨」と 片ほかしの技法について』	『横山大観記念館報』	横山大観記念館	24号	2008年7月
横山大観記念館 (佐藤志乃)		横山大観の勅題画について—表現と技法	『横山大観勅題画特選 まほろばの大和』	同朋舎メディア プラン		2008年12月
吉崎真弓		『萬朝報』の「端書ポンチ」—1907年から 1916年までの主題の傾向と常連投稿者	『近代画説』	明治美術学会	17号	2008年12月
吉田千鶴子		六角紫水と古社寺宝物調査	『国宝を創った男・ 六角紫水』	広島県立美術館		2008年11月
吉田千鶴子		大村西崖の滞欧日記	『近代画説』	明治美術学会	17号	2008年12月
吉田千鶴子		『近代東アジア美術留学生の研究』		ゆまに書房		2009年2月
渡部周子	菅聡子編、 菅聡子、 藤本恵ほか	『〈少女小説〉ワンダーランド —明治から平成まで』		明治書院		2008年7月
渡部周子		白き薔薇を手にする少女—純潔	『國文學臨時増刊』	學燈社	54巻3号	2009年2月
渡部周子		第23回女性史青山なを賞記念講演要旨 『「少女」とはなにカー「愛」、「純潔」、「美」 という規範から見えるもの』	『女性学研究所年報』	東京女子大学 女性学研究所	19号	2009年3月